

# 第24回 全国女性消防操法大会 桑折町女性消防隊 健闘！



令和元年十一月十三日(水)、横浜市横浜赤レンガ倉庫イベント広場において、総務省消防庁、日本消防協会主催による第二十四回全国女性消防操法大会が開催されました。

指揮者 野田ひとみ選手  
個人賞受賞



開会式では、前大会優勝の熊本県人吉市女性消防隊から優勝旗の返還があり、林崎消防庁長官(代理)斎藤洋明総務大臣政務官、秋本敏文日本消防協会会長の主催者挨拶に続き、安藤俊雄全国消防長会長の祝辞、林 文子横浜市長(代理)小林一美副市長の歓迎の辞があり、競技が開始されました。本県代表の桑折町女性消防隊は、競技開始



前、高橋宣博町長、津田次男桑折町消防団長、松山一八県消防協会長からの激励の言葉をを受け、選手は士気はいよいよ高まり、駆けつけた応援団からの声援も受けて、力いっぱい競技を行いました。結果は善戦するも残念ながら入賞には至りませんが、吉田久恵隊長ほか選手六名全員で、日頃の訓練の成果を披露し、指揮者として出場した野田ひとみ選手は、見事優秀選手に選ばれました。

また、前日の激励交流会は、パシフィコ横浜会議センターで開催され、林崎消防庁長官、国会議員等ご来賓、消防応援団の方々、消防関係者など約八百名が参加し、意見交換等交流を深めました。高市総務大臣からのビデオメッセージはじめ多数ご来賓の激励メッセージをいただき、出場選手代表の決意表明も行われ、地域間の絆が深まるとともに、大会での健闘を誓い合いました。



★優勝 熊本県八代市本都女性消防隊  
★準優勝 佐賀県唐津市女性消防隊  
山口県和木町女性消防隊

第二十七回全国消防操法大会が令和二年十月十六日(金)に千葉県市原市千葉県消防学校において開催されます。今回、本県代表はポンプ車の部に出場することとなっています。出場順を決める抽選会は二月二十五日に日本消防協会で行われ、福島県は第一コース一番目に決定しました。なお、本県代表の消防団は、八月三十日(日)に行われる福島県消防操法大会のポンプ車の部優勝チームとなります。

第27回全国消防操法大会 出場順

コース	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
第一コース	福島	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨
第二コース	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨
第三コース	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨



編集者 福島市中町五番二十一号 福島県消防会館内  
公益財団法人 福島県消防協会  
電話(福島) (522)五九七四  
http://www.zfssk.or.jp/  
印刷人 福島市南矢野日字萩ノ日裏一丁目 村山 広一  
電話(福島) (553)四六〇〇

ひとつずつ  
いいね！で確認  
火の用心  
令和元年度全国統一防火標語



## 第二十七回全国消防操法大会 出場順決定

# 令和元年度 消防団長等研修会

二月二十日から二日間、郡山市熱海町の「ホテル華の湯」において、令和元年度消防団長等研修会を開催いたしました。

初日は、県消防保安課の飯沼秀敏課長から「消防団の充実強化について」の講話、続いて、「先進的な訓練事例と消防団活動」と題し、埼玉県消防協会第二ブロック協議会顧問であり前入間市消防団長の内村良一氏から、消防団員の処遇改善、救助資機材技能検定による団員のやる気を上げていく取り組み、ケーブルテレビの番組やCMを活用した消防団のイメージを上げる広報活動など、これまでの活動、今後についてのご講演をい



ただきました。終了後、福島県消防協力委員会と参加者が一堂に会し、情報交換懇談会を行っておりませんが、昨年度に引き続き、開会前に福島県消防協力委員会への要望を福島県消防協力委員会、勅使河原正之会長に対して行いました。

翌日は、「消防団の訓練における傷害予防の取り組み」医学的知見とアプローチの実際」と題し、理学療法士であり、美濃加茂市消防団員としても活動されています中宿伸哉氏にご講演いただきました。中宿講師は、消防操法の練習中に怪我をされたことをきっかけに、消防団員の訓練時における怪我や痛みを予防するとともにパフォー



マンスを向上させる目的をもって調査や考察を行い、訓練前のストレッチを取り入れる活動を行っております。研修会会場でも、講師が考案したストレッチを参加者全員で実践しました。続いて、日本消防協会年金共済部の藤中将樹次長より消防個人年金の加入促進について説明を受け、二日間の研修会は終了しました。



第七十二回日本消防協会定例表彰式  
 全国消防大会  
 第七十二回  
 日本消防協会  
 定例表彰

第七十二回日本消防協会定例表彰式は令和二年三月三日(火)に開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のために、六月に延期されることとなりました。

表彰については、予定どおり三月三日付で行われ、表彰されたのは特別表彰まとい一〇団、特別功労章一〇名、表彰旗四〇団、竿頭綬九四団、功績章九四四名、精積章二、二六九名、勳続章七、四七四名、婦人消防隊表彰旗一〇隊、婦人消防隊員功績章一二名、永年勤続職員五名で、本県関係の受章者等は次のとおりです。



- 表彰旗 (二団) 西会津消防団
- 竿頭綬 (三団) 国見町消防団・須賀川市消防団・下郷町消防団
- 功績章 (三六名) 福島市消防団分団長 村松祥一郎他
- 精積章 (八六名) 福島市消防団副分団長 片平 登他
- 勳続章 (二〇二名) 福島市消防団部長 阿曾 正美他

(機器協会員)

MORITA GROUP

13mブーム付 多目的消防ポンプ自動車 MVF

ALLESIMO アルミ製圧式 粉末消火器

人と地球のいのちを守る

MORITA 株式会社モリタ

モリタ宮田工業株式会社

〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町3丁目8番55号  
 仙台支店 TEL.022-238-6461  
 東北営業部 TEL.022-238-4771

(機器協会員)

ISUZU

いすゞ自動車東北株式会社

福島支社 福島市岡島字長岬6-7 ☎024(522)1501(代)

福島支店 ☎024(546)1151(代)  
 郡山支店 ☎0248(72)2020(代)  
 いわき支店 ☎0246(58)4081(代)  
 会津支店 ☎0242(24)3455(代)  
 相双営業所 ☎0244(24)3255(代)  
 本宮営業所 ☎0243(63)2660(代)  
 白河営業所 ☎0248(22)7125(代)

(機器協会員)

有限会社 美光

福島市西中央三丁目二六番一五号  
 TEL (〇二四) (534) 〇二五五  
 FAX (〇二四) (534) 六六五七

あらゆるパッチ 盾・トローラー 消防関係記章のご用命は すべてに記念品 当店にどうぞ

(機器協会員)

福島日野自動車株式会社

本社 郡山支店  
 郡山市安積町菅川字峰田五ノ一  
 ☎〇二四(九四四)二六六五

福島支店  
 福島市荒井北二丁目一  
 ☎〇二四(五九三)〇三三三

いわき支店  
 いわき市小台浜島字渡地六番地一  
 ☎〇二四(六八八)八二八一

白河支店  
 西白河郡桑名町大字桑名字榎上業地二二一  
 ☎〇二四(八八四)〇三三五

会津営業所  
 会津若松市神指町大字北四合字横沼東一〇一  
 ☎〇二四(一三七)代二二三三

相双営業所  
 相馬市榎木字大岡七二五  
 ☎〇二四(一三六)代〇三九五

令和元年度

訓練指導員研修

令和元年十月十日(木)・十一日(金)の二日間、令和元年度訓練指導員研修が県内各消防団から二十三名が参加し、福島県消防学校で開催しました。

研修の第一日は、松山一八会長の挨拶、本研修会のオリエンテーションに引き続き、消防協会事務局より、福島県消防協会の事業、協会ホームページの開設等について説明した後、日本消防協会の事業であります消防個人年金の加入呼びかけ、新・日本消防会館建設に対する協力をお願いしました。次に、県消防学校講師による「消防団の事故対策」として、安全管理の基



本、火災現場における安全管理の実践など、安全管理(事故防止)の重要性について講義が行われ午前の部が終了しました。



午後は同じく消防学校講師による「改訂版訓練礼式の解説」という教本を用いて改定された内容を中心とした座学講義、心肺蘇生法、AEDを用いた救命処置などの実技研修が行われ、第一日が終了となりました。第二日は、県消防保安課職員から福島県の消防団確保事業、ふくしま消防団サポート企業などの取り組みについて説明をうけました。



次に、県消防学校講師による現場指揮について、現場指揮の責任、指揮者の心構えや団員の安全確保について講義を受けました。

午後は、屋内訓練場で訓練礼式の実技訓練が行われ、小隊訓練や指揮者の動き、表彰の受け方などの指導を受けました。

閉講式では、松山一八会長が研修生一人一人に修了証書と訓練指導員章を授与し、松山会長と、県消防学校鈴木専門教務主任より講評をいただいた。最後に、二日間総代を務めた浪江町消防団 高野仁久分団長が御礼の挨拶を行い研修会の全日程が終了しました。

桑折町消防団に消防車両を交付

(公財)日本消防協会では令和元年度消防団員等福祉増進事業の一環として消防団活動車の交付を行っています。この事業は平時には防災学習や防災指導用として活用し、災害時には緊急車両として、消火・救助活動等の現場で活用できるものです。

本県では今年度、桑折町消防団が消防団活動車の交付を受けました。

桑折町消防団の津田次男団長は「桑折町消防団は地域住民の安心・安全を守るため、火災の未然防止、予防消防に努めています。頂いた交付車両は、特に女性消防団を中心に、平時でも積極的に活用し、より一層防災啓発活動に努め、消防人として住民の負託に堪えていきます。」と女性消防団の活性化と地域の防災力の一層の向上のために交付車両を活用する期待を述べました。



交付車両の X-TRAIL と津田次男団長

福島トヨタ  
自動車株式会社

福島市太平寺字沖高二五  
☎〇二四一五四六一〇〇〇

(機器協会員)

(機器協会員)

総合防災用品、NIKKI式消防車  
トーハツ消防ポンプ、キンバイホース  
NAホスポール



民間車検場  
和田自動車株式会社

郡山市田村町金屋字孫右エ門平57番地  
〒963-0725 ☎ 024(943)3400(代)  
☎ FAX 024(943)3873

安全と防災  
総合安全設備  
総合防災設備

消防標識 防災用品  
カーブミラー 反射テープ加工 各種標識  
道路安全用品 各種消火器

各種作業服  
TOAN トーアン株式会社

☎ 963-0215 郡山市待池台1丁目55-37 ☎ 024(936)2050(代)

(機器協会員)

消防ポンプ自動車・小型動力ポンプ・  
消防ホース・消火器・防火衣・  
火災報知設備・積載車籠装  
消防設備保守点検

会津消防用品株式会社

会津若松市松町二一四一

☎ 会津若松 〇五二五一

(機器協会員)

# 令和元年度 女性消防団員等研修会

令和元年十一月三十日(土)、いわき市労働福祉会館において、令和元年度女性消防団員等研修会を開催しました。十月十二日に発生した台風第十九号被害の影響もありましたが、県内の女性消防団員等約三十名が参加されました。

はじめに、松山会長から挨拶を述べ、次に、九月十九日に青森市で開催された第二十五回全国女性消防団員活性化青森大会に参加された福島市消防団宮村たま江さん、伊達市消防団八巻ひろえさんから大会の参加報告発表がありました。

続いて、消防団員等公務災害等補償基金の「消防団員セーフティ・ファーストエイド研修」を活用し、臨床心理士(消防庁緊急時メンタルサポートチーム)重村朋子氏をお招きし、「惨事ストレスとその対策」と題して、ご講演をいただきました。東日本大震災の際の、災害現場等における活動による、惨事ストレスの対応と対策についても交えてお話しされました。

最後に事務局より消防個人年金の説明を行い、更なる加入促進を呼びかけました。午後から予定されていた県主催の消防団員確保対策研修会は、台風第十九号の災害対応が長期化していることに伴い、中止となりました。



また、九月七日、郡山市において、女性消防団員活性化事業検討会を実施しました。日本消防協会の幹部候補中央特別研修に参加経験のある女性団員の方に参加していただき、今後の女性消防団員研修会のあり方や女性消防団員の情報共有について活発な意見交換が行われました。



## 新日本消防会館の建設

令和二年三月三日(火)に開催された日本消防協会評議員会において、新日本消防会館建設の進捗状況について説明がありました。建設費の総額は消防関係団体入居に必要な有効面積の確保、耐震性能・防災機能の向上などにより、概算で百七十八億になると報告がありました。

福島県消防協会では、新日本消防会館の建設にあたり、消防職員・消防団員の方に協力をお願いしており、令和二年三月十六日現在で、三十九消防団、十二消防本部から一千二百万円を超える協力をいただいております。

### 新日本消防会館概要

- 延床面積 約16,400㎡ (地上14階、地下2階)
- ・1階……………日本消防防災情報センター
  - ・2階……………多様な会議室、ホールエントランス
  - ・3階～5階…ニッショーホール (1,000席)
  - ・6階～12階…オフィス
  - ・屋上……………全国消防殉職者慰霊碑



新会館外観イメージ

(機器協会員)  
トータス消防ポンプ シバウラ消防ポンプ  
モリタ式自動車ポンプ 消火器具  
ジェットホース 避難器具・保護具  
消防被服 火災報知機  
消防用金具 その他消防用品一式

**磐水社**

本社 いわき市平字古鍛冶町4  
☎(0246)23-1616(代)  
FAX (0246)23-1979  
白河営業所 白河市字大鳥居橋前83-14  
☎(0248)23-3600  
FAX (0248)23-4134

(機器協会員)  
福島県知事許可  
総合防災設備設計・施工・  
保守点検・消防資材一式・  
他弱電工事

**明和電気防災(株)**

福島市上島渡茨沢2-3  
☎(024)593-2131

(機器協会員)  
郡山防災センター  
(株式会社ホシノ郡山支店)  
郡山市久留米三丁目二十七番地  
☎〇二四一九四五八九九(代表)

モリタ式消防ポンプ・シバウラ消防ポンプ・消火器・消防ホース・服装類・積載車

(機器協会員)  
総合消防設備  
消防備品、消防設備点検、防火対象物点検

**援護化学株式会社**  
代表取締役 滝田 吉宏

本社 郡山市図景1丁目17-24  
(024)932-0440(代)  
営業所 会津若松市東千石1丁目2-29  
(0242)27-1056

令和元年 秋の叙勲(消防関係)

全国の受賞者は、六〇三名(瑞宝中綬章一名、旭日小綬章一名、瑞宝小綬章二七名、旭日双光章二名、瑞宝双光章六八名、瑞宝単光章五〇四名)となつています。(発令元・十一・三二) 福島県関係では、次の方々が受章されました。

- 瑞宝双光章(四名 敬称等略)
●元 相馬市消防団 団長 荒 忠 夫
●元 田村市消防団 団長 佐久間 俊一
●元 会津若松地方広域市町村圏整備組合 消防正監 鈴木 新一郎
●元 南相馬市消防団 団長 長 澤 初 男
●瑞宝単光章(十六名 敬称等略)
●元 福島市消防団 分団長 阿 部 紀 夫
●元 郡山市消防団 副団長 飯 田 東 一
●元 南会津町消防団 副団長 猪 股 洋
●元 いわき市消防団 分団長 折 笠 勝
●元 福島市消防団 分団長 佐久間 勝之
●元 会津坂下町消防団 団長 鈴木 孝 英
●元 いわき市消防団 分団長 鈴木 滋
●元 川俣町消防団 分団長 曾 我 祥一樹

令和元年 秋の褒賞(消防関係)

全国の受賞者は、一〇九名(紅綬褒章五名、黄綬褒章九名、藍綬褒章九五名)となつています。(発令元・十一・三二) 福島県関係では、次の方々が受章されました。

- 元 福島市消防団 分団長 高 橋 繁 松
●元 矢祭町消防団 団長 立 花 利 夫
●元 三島町消防団 分団長 秦 正 信
●元 郡山市消防団 分団長 馬 場 康 吉
●元 下郷町消防団 団長 星 賢 一
●元 会津若松市消防団 分団長 松 沢 米 吉
●元 柳津町消防団 団長 目 黒 孝 功
●元 いわき市消防団 分団長 山 野 邊 功
●元 福島市消防団 分団長 阿 部 繁 雄
●元 南会津町消防団 副団長 児 山 孝 美
●元 大玉村消防団 団長 菅 野 善 啓
●元 平田村消防団 団長 玉 木 幸 一
●元 会津若松市消防団 副団長 芳 賀 徳 章
●元 須賀川地方広域消防組合 消防司令長 目 黒 修 世
●元 郡山地方広域消防組合 消防司令長 今 泉 昭 男
●元 郡山地方広域消防組合 消防司令長 佐 藤 重 治
●元 須賀川地方広域消防組合 消防司令長 舘 川 博 司
●元 福島市 消防司令長 長 澤 千 里

第三十三回 危険業務従事者叙勲(消防関係)

全国の受賞者は、六一八名(瑞宝双光章二九一名、瑞宝単光章三二七名)となつています。(発令元・十一・三二) 福島県関係では、次の方々が受章されました。

- 瑞宝双光章(八名 敬称等略)
●元 いわき市 消防司令長 赤 津 金 一
●元 相馬地方広域市町村圏組合 消防司令長 木 村 一 正
●元 いわき市 消防監 黒 澤 正 明
●元 喜多方地方広域市町村圏組合 消防司令長 齋 藤 茂
●元 会津若松地方広域市町村圏整備組合 消防監 佐 藤 孝 喜
●元 須賀川地方広域消防組合 消防司令長 鈴木 新一
●元 喜多方地方広域市町村圏組合 消防司令長 目 黒 修 世
●元 福島市 消防監 吉 田 廣 志
●瑞宝単光章(四名 敬称等略)
●元 郡山地方広域消防組合 消防司令長 今 泉 昭 男
●元 郡山地方広域消防組合 消防司令長 佐 藤 重 治
●元 須賀川地方広域消防組合 消防司令長 舘 川 博 司
●元 福島市 消防司令長 長 澤 千 里

福島消防資材株式会社
トールハツ消防ポンプ・モリタ式自動車ポンプ・ジェットホース・キンパイホース・消火器・避難器具・火災報知機・漏電警報機
福島市五月町八一三七
02415215555

ニッキ消防ポンプ
キンパイホース
(機器協会員)
(総合防災)
会星産業株式会社
白河市古高山3-138
0248(22)5504

消防設備総合メンテナンス
キンパイホース・消火器・避難器具
スノーラップ
(有)東北防災センター
代表 夏井一樹
本社 福島市入江町5-7
024(634)3389・2540

(有)渡辺鉄工消防用品
トールハツ消防ポンプ
モリタ式消防ポンプ車
消防ホース・消火器
ミヤス自動車消火装置
避難器具・消防被服
鉄骨火の見櫓・他消防用品一式
田村市船引町北町通47
0247(82)0072

株式会社 ホシノ
モリタ式消防ポンプ自動車
シバウラ小型動力ポンプ
消防用設備・設計施工・保守点検
会津若松市材木町
一丁目十番二十二号
0246(26)5600
郡山支店

日本機械工業株式会社
(機器協会員)
NIKKI の消防自動車
仙台営業所 仙台市青葉区1丁目10番36号
TEL 022-222-8831
FAX 022-223-6660
福島県下代理店
和田自動車(株) 郡山市(943)3400
(有)豊和防災サービス
会津若松市(27)7878

株式会社 平成
(機器協会員)
本社 / 〒971-8122
福島県いわき市小名浜林城字塚前23-1
TEL 0246-58-0047(代)
FAX 0246-58-0080
代表取締役 鈴木庸平
●雄大な自然都市いわき
●躍動するネットワーク都市いわき
●のびのび快適生活都市いわき

株式会社 平成
(機器協会員)
本社 / 〒971-8122
福島県いわき市小名浜林城字塚前23-1
TEL 0246-58-0047(代)
FAX 0246-58-0080
代表取締役 鈴木庸平
●雄大な自然都市いわき
●躍動するネットワーク都市いわき
●のびのび快適生活都市いわき

福島県消防団応援プロジェクト  
**ふくしま消防団  
 サポート企業  
 を募集中!!**

福島県では地域の安全・安心な生活を支える消防団活動に対してサポートしていただける企業等を募集しています。企業の社会的貢献活動の一環として是非ご協力をお願いします。

「ふくしま消防団サポート企業」は消防団員や消防団などに様々なサービス提供していただくことをとおして、消防団員やその家族の利用につながるとともに、地域防災力の向上に貢献する企業としてのイメージアップに繋がります。

詳しくは福島県危機管理部消防保安課までお問い合わせをお願いします。



**福島県消防協会の令和2年度事業計画・予算が決定**

福島県消防協会の令和2年2月理事会が令和2年2月13日(木)に福島県消防会館2階会議室において開催され、令和2年度事業計画・予算などが決定されました。  
 令和2年度事業計画・予算は次のとおりです。

**令和2年度事業計画 (主要行事)**

○6月5日(金)	令和2年度福島県消防殉職者等慰霊祭	相馬市民会館
○6月6日(土)	第73回福島県消防大会	相馬市民会館
○6月予定	県協会支部事務連絡会議	未定
○7月14日(火)	東北地区消防連絡協議会	宮城県仙台市
○8月30日(日)	第42回福島県消防操法大会	福島県消防学校
○9月17日(木)	第39回全国消防殉職者慰霊祭	東京都 (ニッショーホール)
○10月16日(金)	第27回全国消防操法大会	千葉県消防学校
○11月予定	令和2年度消防団訓練指導員研修	福島県消防学校
○11月19日(木)	第26回全国女性消防団員活性化大会	徳島県徳島市
○1月12日(火)～15日(金)	第47回消防団幹部特別研修	東京都 (日消ほか)
○2月3日(水)～5日(金)	第20回消防団幹部候補中央特別研修(男性の部)	東京都 (日消ほか)
○2月17日(水)～19日(金)	第20回消防団幹部候補中央特別研修(女性の部)	東京都 (日消ほか)
○2月下旬	令和2年度団長等研修会	ホテル華の湯
○3月5日(金)	第73回日本消防協会定例表彰式	東京都
○未定	女性消防団員等研修会	未定

**令和2年度予算概要**

○収入の部	総額	39,923,400円
・公益目的事業会計		18,911,300円
主な内容	市町村負担金	15,480,000円
	県補助金・日消助成金等	2,400,000円
・収益事業会計 (会館運営事業)		7,000,200円
・収益事業会計 (共済事業)		10,990,500円
主な内容	日消事務費・助成金等	10,990,000円
・収益事業会計 (その他事業)		1,300,600円
・法人会計		1,720,800円
主な内容	市町村負担金等	1,720,000円
○支出の部		44,708,500円
・公益目的事業会計		29,582,000円
・収益事業会計 (会館運営事業)		7,629,500円
・収益事業会計 (共済事業)		3,482,000円
・法人会計		2,568,000円

消防団員・消防職員  
 だからこそ  
 加入できる!!

**消防個人年金**

**7つのポイント**

毎月加入  
 ができます!

- 1 最長70歳まで積立てが可能な、公的年金の補完ができる制度です。
- 2 予定利率(※1) 1.25% (令和元年6月1日現在 (将来変動することがあります。))
- 3 月払、半年払、月払・半年払併用払から選択でき、月払の場合、毎月10,000円(ゆうちょ銀行の口座から振替の場合は5,000円)から加入できます。さらに、加入時・加入期間中に、まとまった資金を一時払として払い込むことができます。
- 4 保険料は、生命保険料控除の対象になります。(※2)
- 5 消防団員・消防職員の退団・退職後も継続できます。
- 6 途中で脱退しても、積立金(脱退一時金)を受け取ることができます。
- 7 現在約21,000名の方が加入され、約11,000名の方が年金を受け取られています。(※3)

(※1)「予定利率」は保険料(掛金から運営事務費を除いたもの)のうち、引受保険会社の保険事務費等を控除した額に対する利率であり、払い込んだ掛金額に対する利率ではありません。**予定利率は預金等の利回りとは異なります。**

(※2)上記のお取り扱い、令和元年6月現在の法令等にもとづいたものであり、将来的に変更されることもあります。

(※3)記載の人数は、平成30年度決算時点の実績です。